

キャラクター名  
水城 綴瑠々 (みずき てるる)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGNチルドレンB	カヴァー	女子高生V-Tuber
	ハヌマーン					
オプション			年齢	16	性別	女
覚醒	犠牲	衝動	飢餓	初期侵食率	30	%
出自	貧乏	経験	平凡	邂逅	忘却	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	26
肉体	2	0	0			2	行動値	14
感覚	2	1	3			6	(非装備時)	14
精神	2	0	0			2	戦闘移動	19
社会	2	0	0			2	全力移動	38

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	2		RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志	3		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: ウェブ	3	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話 (GooglePixel7a)	
コネ: 警察官	
コネ: ハッカー	
コネ: 手配師	
コネ: 要人への貸し	
パディムーヴ	
コネ: 情報収集チーム	
コネ: 熱心なファン	
コネ: インフルエンサー	
モバイルPC	

合計装甲: 0    合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
超血統 (ピュアブリード)	P	N		
百鬼夜々子	P 憧憬	N 劣等感		
姉	P 遺志	N 劣等感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4    残り財産P: 0

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
援護の風	7	2	オート	視界	単体	自動	-	
効果: 判定ダメージ+LV個、リターン1回								
ウィンドブレス	7	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果: 前提: 援護の風、達成値+LV*3								
エンジェルヴォイス	5	4	Xジェネ	視界	単体	交/自		
効果: クリティカル値-1(6)、判定ダメージ+LV								
ハードビート	6	2	Xジェネ	視界	-	交/自	-	
効果: 対象の攻撃力+LV*2								
風の渡し手	1	3	Xジェネ	-	LV+1	交/-	-	
効果: Iワイクの対象をLV+1体、ターン1回								
限界突破	3	3	セットアップ	至近	自身	自動	80↑	
効果: 援護の風をリターン2回、1リターンLV回								
蝙蝠の耳	★	-	Xジェネ	至近	自身	自動	-	
効果: 何か聞こえる判定は知覚								
七色の声	★	1	Xジェネ	至近	自身	自動	-	
効果: 変装時の看破判定は知覚								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「困ったもんですね…晩御飯までに片づけちゃって下さい」

幼い頃からUGNチルドレンだった彼女は、パワー戦闘型ではないにしろ歴戦のベテランだ。百鬼夜々子とは長く過ごしており、振り回されながらもこんな世界で楽しく生きている。今回もなんだかイヤ〜な予感がしているのだが、夜々子のことだ。きっと何とかなるだろう。

(人物設定)  
世の中、なるようにしかならないけどなるようになるからOKオーケーと達観したダウンチルドレン。戦闘の空気を的確に読み、風を操作したり脳にぐる声でバフってくれる、熟練した支援タイプの猛者。声に関する能力は傑出しており音声偽装や盗み聞きといった諜報任務にも優れているが、テンション低めで会話は苦手。

可愛い声が出せるので夜々子に「ゆーちゅーばーとか向いてんじゃね?」と言われV-Tuberを始めたが、配信のテンションが低すぎて面白くないため全く伸びていない。ショタがファンになってくれるのを密に夢見ているが、夢破れたおじさんしかフォロワーがいない。現実是非情である。

(過去設定)  
高濃度のレネグイド反応の中心にある家庭から音沙汰がないという事件の調査にてUGNに保護された少女。当時5歳になったばかりの綴瑠々は貧困の母子家庭で姉と共に餓え果てていた。